



けもの掲示板

雑草が伸びない今こそ！冬季電気柵管理のすゝめ



電気柵を設置していても被害にあったほ場
【撮影】 福島県避難地域鳥獣対策支援員

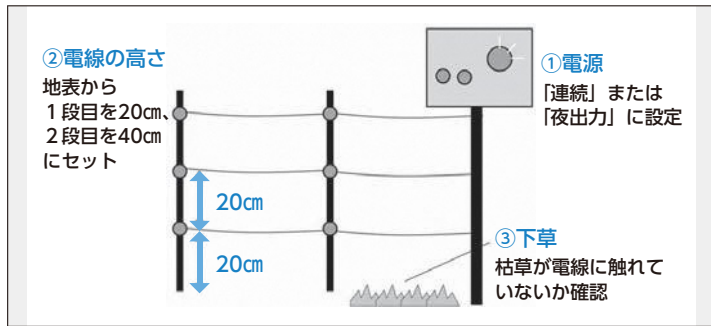
電気柵は、通電してなくても設置するだけで被害が軽減すると考えている農家さんは多いのではないのでしょうか。それは、町内で多くのほ場に電気柵が設置され、感電したイノシシが電気柵を警戒しているためです。

ところが、冬季に電気柵の電源が切れていると、ほ場に侵入したイノシシが感電しないことを学習します。そのイノシシは、夏季のほ場にも電気柵を警戒せずに接近するようになります。

冬季は雑草が伸びないため、この時期にしっかりと通電を継続し、イノシシの侵入を阻止することは、夏季の農作物被害の軽減にも繋がります。

～電気柵達人への道のり～ できる範囲でやってみましょう！

※町で貸与している電気柵は、営農再開支援事業の補助を活用し、皆さまのほ場に設置しています。そのため、別ほ場への移設や、延長距離の縮小を検討される際は、一度農林水産課までご連絡ください。



町では有害鳥獣対策に取り組む皆さんをサポートしていきます。皆さんの鳥獣対策がありましたら、ぜひお話しをお聞かせください。

農林水産課農林水産係
0240(34)0246

農林水産課の有害鳥獣対策を紹介

防護柵の貸与（出荷を目的とした農地に限る）

追い払い花火の配布

鳥獣被害に関する勉強会

町ホームページでもご覧いただけます

INTERVIEW みんなの鳥獣対策

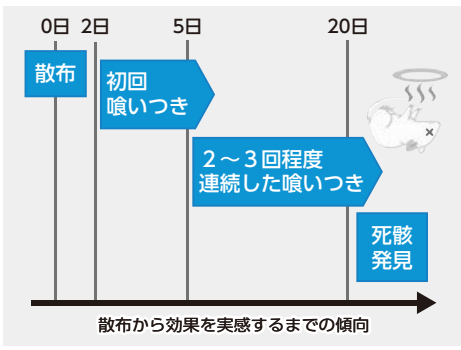


浪江町の地域課題「鳥獣被害」を防ぐ、軽減させるため地域で取り組む鳥獣対策を紹介します。



■どんな被害がありましたか？
野ネズミによる球根や種、茎の食害が多く、特に、冬季はハウス内で暖房を使用することから、野ネズミの侵入が増え、被害が多く発生しています。

月1回開催される生産者勉強会に参加している花き生産者の皆さんは、野ネズミによる被害を受けている一方で、その対策として殺鼠剤の使い方や効果を共有しています。



■具体的な対策方法を教えてください
殺鼠剤の設置方法は生産者により異なる方法、防草シートやほ場の隙間に配置する方法などを採用しています。使われるネズミ穴が時期によって変わることに、設置後すぐに喰いつかないことから、定期的な見回りを根気強く続けることが重要です。

ネズミ穴に投入した殺鼠剤

《農林水産係から一言》
花きに関する話題では積極的に情報交換を行っていました。また、殺鼠剤の設置場所を変え、効果を検証するなど花き生産者が一体となって試行錯誤を行う素晴らしい取組でした。

ありがとうございます。



左：ストック 右：キンギョソウ
ネズミ被害を出さず、年末年始に向けた花きが生産できました。

■今後の意気込み、伝えたいこと
野ネズミ対策を継続し、花きを計画通りの数量で生産することで、しっかりと収益を上げられるようにしたいです。その営みが、町内の花き生産者の増加につながると嬉しいです。